



2025-2026
国際ロータリーテーマ

よいことの
ために
手を取りあおう



フランチェスコ・アレツツォ



諫早西RC
ホームページ



Facebook



諫早西RC
掲示板



2025-2026年度 諫早西ロータリークラブテーマ

『ロータリアンとしての品格と誇りを持とう』

諫早西ロータリークラブ会長 吉田 健一郎

第1883例会 2025年 11 月 5 日例会記録 NO.15 天候 曇り

【本 日】	会員数	44名	出席	32名	欠席	8名	出席扱い (急引)	0名	免除	4名	出席率	80.00%
【10/22】	会員数	44名	出席	34名	欠席	6名	(MU 2名)		免除	4名	出席率	85.00%

会長の時間

皆さん、こんにちは。いきなりですが、一円玉が道端に落ちていたら、皆さんは拾われますか？ 恥かしいですか？ 私は拾います。

今日は、「一円玉」の話をしたいと思います。コンビニでお釣りに1円をもらって、「これは募金箱行きだな」なんて思いながらポケットに入れて、気づけば洗濯機の中でチャリン。洗濯機の方が1円を多く集めている気がします。あるいは「あ、また増えたな」と思って、財布の隅っこでいつの間にか“銀色の孤独”になっていませんか？ でも考えてみると、1円って本当に大切なんです。買い物をする時、釣銭を渡す時に必要です。100円玉も、1000円札も、1円がなければお金は成り立ちません。さらに、1円玉を作るのにかかるコストは、なんと3円ほどです。つまり、作るだけ赤字です。それでも作り続けられるのは、「小さな価値を大切にする文化」が日本にはあるからだと思います。

これ、ロータリーの活動にも通じるといえます。派手なプロジェクトや大きな寄付も素晴らしいですが、その土台には、日々の小さな思いやりや行動があります。「おはよう」と声をかける事。「ありがとう」と言う事。たったそれだけでも、誰かの心を温かくします。まるで“一円玉の価値”みたいです。歳末になると街頭で募金活動を目にします。以前、募金箱の前で子どもが1円玉を入れるのを見たことがあります。たった1円。でも、その子は「これで、誰かが笑ってくれたらいいな」と、お母さんに言っていました。あの1円は、世界一輝いて見えました。私も思います。「そうか、1円って、人の優しさの形なんだな」と。もし皆さんの財布に1円玉が眠っていたら、ちょっと磨いてみてください。そこに“奉仕の心”が映えるかもしれません。

最後に、次の言葉で締めたいと思います。《一円を笑う者は、一円に泣く。一円を大切にする者は、人に笑顔を与える。》これからも、私たちロータリアンは“一円玉のように、小さくても光る存在”でありたいものです。



吉田 健一郎 会長

会 長／吉田 健一郎 幹 事／友永 俊介 創 立 日／昭和60年2月20日 認 証 日／昭和60年3月5日
例 会 場／平安閣 諫早サンプリエール(毎週水曜日) 〒854-0053 諫早市小川町71-1 TEL (0957) 24-3907
事 務 局／諫早商工会議所内 〒854-0016 諫早市高城町5番10号 TEL (0957) 22-3323
会 報 委 員／辻 保行・久保 泰正・古賀 秀次・大町 誠
HP/<https://isahaya-west.com> E-mail/info@isahaya-west.com

幹事報告

例会変更及び休会なし

【お知らせ】

※国際ロータリー日本事務局より

「11月ロータリーレート 1ドル＝154円」

※ガバナー事務所より

「2025-26年度 国際ロータリー第740地区 地区大会
ご参加の御礼」

【地区大会表彰 クラブ優秀賞】



前年度幹事 古賀会員へ

😊 スマイルボックス 😊

友永 俊介君：誕生日祝ありがとうございました。47歳になりました。

毎熊正太郎君：明日から小川商工会研修旅行で、フィリピンのボラカイ島まで行ってきます。御厨君と古賀君をてるてる坊主がわりにつれていけないので雨が心配です！追伸 ああ南部さんがいるから大丈夫か！

大町 誠君：誕生日祝ありがとうございます。51歳もう少しがんばります。

小島 礼文君：結婚記念日祝ありがとうございます。

木村 隆二君：結婚記念日祝・誕生日祝ありがとうございます。

荒木 公義君：まだお祝いは早いのですが。

日高 正朗君：おかげ様で妻に捨てられる事もなく、結婚55年が過ぎました。合掌。

本日の合計 (11/5)	累計額
¥35,000	¥498,000

委員会報告



プログラム委員会
清水 淳 委員長



ロータリー情報委員会
川野 弘茂 委員長

【11月誕生日祝】



木村 隆二 君 昭和55年11月22日
大町 誠 君 昭和49年11月25日
友永 俊介 君 昭和53年11月26日

【11月結婚記念日祝】



小島 礼文 君 平成14年11月 3日
日高 正朗 君 昭和47年11月 9日
荒木 公義 君 昭和50年11月22日
木村 隆二 君 平成19年11月23日

地区大会報告

日付：10月24日(金)・25日(土)

会場：唐津市文化体育館・唐津シーサイドホテル



先月の24日唐津において地区大会が開催され、私と友永幹事、久保地区委員長で参加しました。研修セミナーは、講師に俳人の長谷川耀（ハセガワ カイ）氏による「唐津、海の国の門」と題した講演を受けました。海外と近い唐津の歴史、魅力を話されました。

その後、歓迎晩餐会があり、ガバナー挨拶のあと、坂本彩・リサ姉妹の演奏でバッハの作曲《主よ、人の望みの喜びよ》を演奏し歓迎して頂きました。この作品の「人の望みの喜び」は、利己的な満足の追求ではなく、他者の幸福を願い、共に生きることの中に見いだされる安らぎを象徴した、まさにロータリーが掲げる「超我の奉仕」の理念と通い合うところがある曲でした。

乾杯は安部直樹パストガバナーの音頭で始まり、多彩なアトラクションで盛り上がり、他のクラブの方々と懇親がはかれました。



25日の本会議は、野中会員、日高会員、永井会員、山本会員、御厨会員、植杉会員含め9名の参加で臨みました。最初に、物故会員追悼の後、国歌、ロータリーソングの斉唱で始めました。来賓祝辞で佐賀県知事、唐津市長にお言葉をいただき、記念事業目録を市長に渡しました。

青少年プログラムとして早稲田佐賀中学校・高等学校のチアリーディングによるアクロバティックな技の披露がありました。続いて記念講演でグローバル補助金でイギリスに留学、その後、ジェットロで勤務しネパールの水と衛生事業、スリランカでココナッツオイル生産支援、バングラデシュにおいて進出日系企業支援をし、地域の社会貢献活動に熱心に取り組んでいる片岡氏の講演を受けました。

その後、留学生を交えパネルディスカッションがありました。留学生からのロータリーへの要望として「ロータリーは地域で社会を支えあって欲しい」との意見が出ました。本会議第2部では、各種表彰で昨年の実績に対してクラブ優秀賞を頂きました。最後に、地区大会は将来の可能性に目を向ける良い機会です。来年は長崎で開催されますので、ふるって参加しましょう。



「2024-2025 クラブ優秀賞」の表彰をうける
吉田会長



友情が生んだもの

2025-2026 年度 ロータリー財団管理委員長 HOLGER KNAACK



ロータリーにおける友情は、しばしば世界を変えるような実を結ぶことがあります。私がRI会長エレクトだった時、ナイジェリア出身で当時副会長だったオラインカ（インカ）・ハキーム・ババロラさんと共に理事会に出席していました。私の妻スザンヌは、インカさんの妻、プレバ（プレシー）・ババロラさんと親しく交流を深めました。インカさんとプレシーさんは、アーチ・クランフ・ソサエティ会員、ベネフアクター、メジャードナーとして財団を支援するだけでなく、ロータリー財団のプロジェクトにも深く携わっています。

スザンヌとプレシーさんの友情は、彼女たちのクラブ連携へと発展しました。10月の「地域社会の経済発展月間」に当たり、その成果を最もよく伝えるのは、プレシーさんの言葉そのものでしょう。

「ナイジェリアのオブアマは、コロナ禍により深刻な打撃を受けました。多くの家庭、特に女性や若者は安定した収入や働く機会を失ってしまったのです。地域社会には、実用的な支援と長期的な解決策が緊急に必要とされていました。

そこで、私が所属するポート・ハーコート・パスポート・ロータリークラブ(RC)は行動を決意しました。ハンブルク・コネクト・ロータリーEクラブや地区と協力し、グローバル補助金プロジェクトを立ち上げました。目的は、人々に希望と尊厳を取り戻すために必要なスキルを提供することです。

250人を超える女性や若者が、魚や家禽、巻き貝の養殖、そしてビーズ細工の技術を学びました。地元の講師による実践的なワークショップを通じて、参加者は起業に必要なスキルを身に付けました。

今では各家庭で収入が生まれ、母親たちは子どもを学校に通わせられるようになりました。若者たちも収入を得て、仲間に技術を教え、地域経済に貢献しています。

かつて孤立していた女性たちは、今、自ら事業を立ち上げ、人を育て、新しい使命感を見いだしています。このプロジェクトは雇用を生むだけでなく、自信に満ちた地域のリーダーを育てる波及効果を生んでいます」

これこそが、ロータリー財団の支援を受けた献身的なロータリアンの連携によって生まれる変化の姿です。

「地域社会の経済発展」は数あるロータリーの重点分野の中でも力強いプロジェクトが多い分野です。それは、クラブの中に、地域経済を強化するためのビジネスの知見を持つ会員がいるからです。この分野のプロジェクトはほぼどこにでも適用でき、多くの場合、早い段階で成果が見えることも多いのです。

またロータリー財団には、熱心な職員や専門家グループ(Cadre of Technical Advisers)の知見があり、その支援を受けることができます。

夕食の会話から始まったことが、人々の人生を変えるグローバル補助金へと発展しました。ロータリーでは、築かれた友情が世代を超えて人生を変える機会を生み出すのです。実に素晴らしいことではないでしょうか。

〈ロータリーの目的〉

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- | | |
|--|--|
| 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
(クラブ奉仕) | 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業及び社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
(社会奉仕) |
| 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
(職業奉仕) | 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること；
(国際奉仕) |